市報９月５日号の掲載情報は８月28日時点のものです

ともに生き　ともに創る　彩りのまち調布

市報ちょうふ

令和6年（2024年）
No.1771　9/5

CONTENTS（主な内容）

日頃からの地震への備えとトイレ対策……4
令和7年4月に小・中学校に入学する方へ……6
ゲゲゲ忌2024……10
調布花火2024 有料席発売中……16

日本人の2人に1人ががんになる時代

問健康推進課☎042－441－6100

がん検診を受けましょう

調布市産学官連携
がん啓発CAJ※プロジェクトに参加している
相互友好協力協定締結大学の大学生の皆さん
※C＝調布市 A＝アフラック生命保険㈱ J＝JCOM㈱

市で実施しているがん検診は、就労世代の方の受診率が低い状況です。特に女性特有のがん検診は、受診率が低くなっています。

がんは、医療などの進歩により、早期に発見・治療できれば治る病と言われています。全てのがんを完全に治す（根治する）ことができるわけではありませんが、「がんと共に生きる」時代になってきています。

あなた自身が健康に安心して暮らしていけるように、また大切な家族のためにも、ぜひがん検診を受けましょう。

詳細は2・3面をご覧ください➡

手をつなぐ樹 449

最大級の賛辞を

人生において新たなことにチャレンジしたとき、多少でも他の人よりうまくできれば、それは誰にとっても心地よいことであるに違いない。学業、スポーツ・芸術活動を含めいかなる分野においても。

ただし、その活動を継続して得られた成果が周囲の高い評価を受け始めるころから、ときに息苦しさも感じるようになるのが世の常ではないだろうか。人間うまくいけば欲も出るが、多くの場合、難行苦行に耐えなければより高いステージに到達することはできない。そして、自分として限界まで頑張ったとしても、設定した最終目標をクリアすることなくリタイアを余儀なくされるケースが人生を通じて圧倒的に多いことは言うまでもない。たとえば、日本国内で最上位の成績を収めなければ国際競技への出場は叶わない。

まだ数日会期を残すが、メダリストのみならず、パリオリンピック、パラリンピックに出場した全アスリートの健闘に心からの拍手を送りたい。そして、この大舞台に臨むまでの長期間に及ぶ克己心の持続に、敬意をこめて最大級の賛辞を贈らせて頂きたい。結果の如何にかかわらず。

目標達成のためにあらゆることを犠牲にして努力を重ね、何としても応援してくれた周囲の期待に応えようと念願し奮闘するものの、武運つたなく涙を飲まざるを得ないこともある。そのことは誰もが理解している。

選手の皆さんの全力で戦う姿に感動し勇気を頂きました。本当に有難うございました。

調布市長　安藤貴樹

発行：調布市（毎月5日・20日発行）　編集：広報課　〒182-8511 調布市小島町2-35-1　市ホームページ：https://www.city.chofu.lg.jp/　市役所代表：☎042-481-7111
市報ちょうふの配布に関する問い合わせ　市報ちょうふ配布コールセンター（配布受託業者㈱小平広告）☎042－300－3131